

4. トラブルとその対応事例

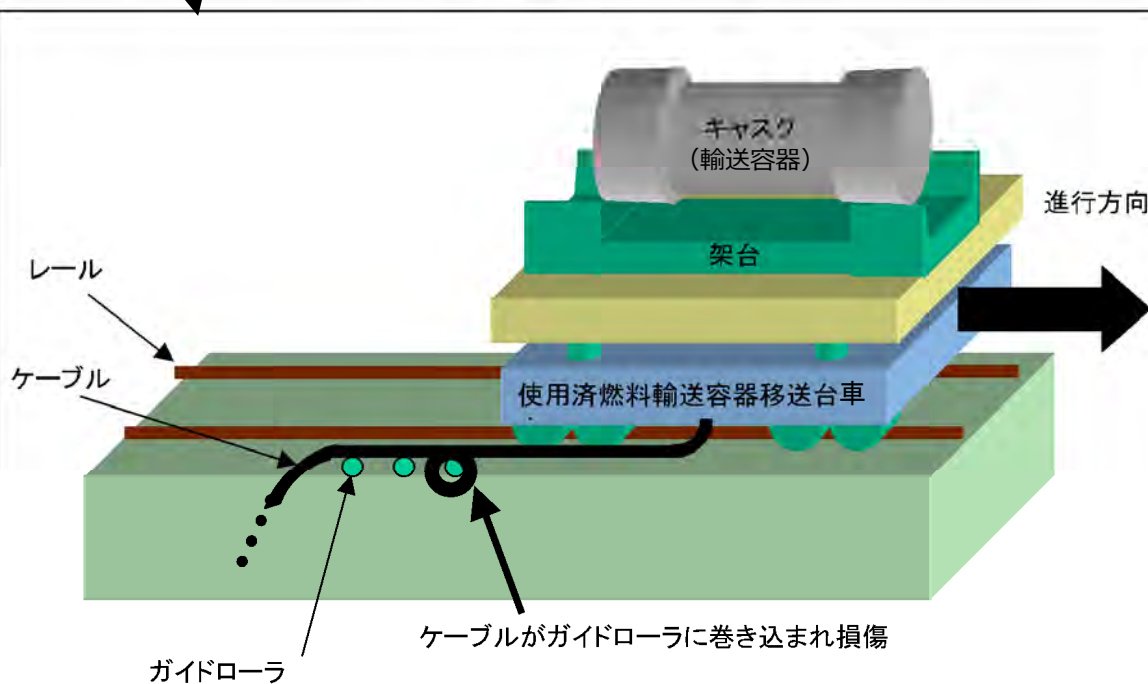
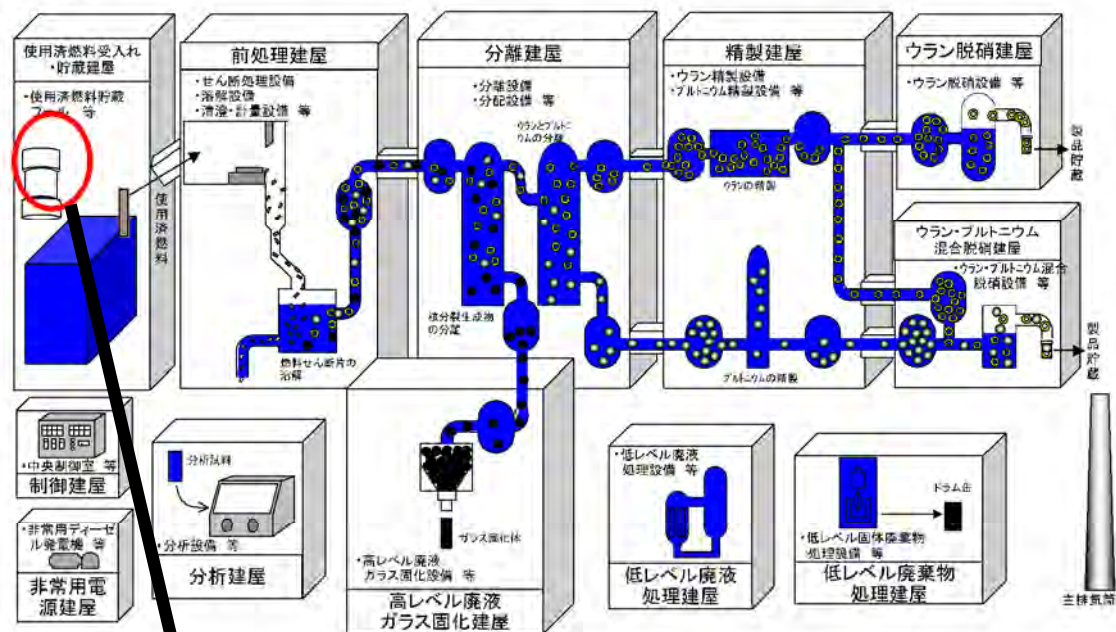
4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別 (g. 破損)

7-11. 使用済燃料輸送容器移送台車のケーブル損傷																	
事象の概要																	
(1)発生場所：機器		使用済燃料輸送容器管理建屋：使用済燃料輸送容器移送台車															
(2)設備の概要		使用済燃料輸送容器管理建屋：使用済燃料輸送容器移送台車															
(3)発生の状況		移送台車の運転中（使用済燃料輸送容器運搬中）															
(4)概要		使用済燃料輸送容器移送台車で輸送容器の架台を運搬していたところ、当該移送台車の駆動用電源ケーブルが、ガイドローラに巻き込まれて損傷し、当該移送台車が停止 ＊他建屋も含め同種の機器においても同様の事象の発生が予想される。															
(5)原因		移送台車を運転する中で偶発的に生じるケーブルの巻き込み。															
事象による影響																	
(1)工場外への影響		工場外への影響は生じない。 使用済燃料は輸送容器内に収納され安全に保管しているため、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。															
(2)安全性への影響		安全上の問題は生じない。 使用済燃料輸送容器搬送台車が停止しても、使用済燃料は輸送容器内に収納された状態であることから、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題も生じない。															
(3)作業員への影響		作業員への影響は生じない。 復旧作業は、定められた放射線管理計画書に従って作業を進めることにより、放射線による作業員への影響は生じない。															
(4)他工程への影響		他工程への影響は生じない。 使用済燃料受入れ・貯蔵施設は、使用済み燃料を受入れ、貯蔵する施設であり、使用済燃料を貯蔵するプールの容量には十分な余裕があることから、他工程の運転への影響は生じない。															
対応の概要		1.使用済燃料輸送容器移送台車駆動用電源ケーブルの破損箇所を確認する。 2.同ケーブルの交換作業を行う。 3.ケーブル交換作業終了後、使用済燃料輸送容器移送台車の動作確認を行い、異常のないことを確認した後、使用済燃料輸送容器の移送作業を再開する。															
公表区分		翌平日に公表（ホームページへ掲載）															
連絡区分*		<table><tr><th colspan="3">トラブル情報</th><th colspan="3">運転情報</th></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>				トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報														
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等												

＊：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要



復旧方法

定められた作業手順に従い当該箇所の保
修により復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

当該設備を停止して復旧

